

2016年は国土強靱化による日本経済の成長が期待されています。国土を強靱にさせるには測量・空間情報は最も必要不可欠です。とりわけ宇宙からのリモートセンシング技術やUAVは今こそ期待できるIT戦略です。発行責任者 牧坂 勝

無人航空機の安全な飛行のためのルール

昨年、航空法が一部改正され平成27年12月10日より無人航空機(ドローン等)の飛行ルールが義務化されました。

「無人航空機(ドローン、ラジコン機等)の安全な飛行のためのガイドライン」によると「地表又は水面から150m以上の高さの空域」や「人口集中地区の上空」などが飛行禁止空域に指定されていたり、「日中(日出～日没)に飛行させること」や「目視(直接肉眼による)範囲内で無人航空機とその周囲を常時監視して飛行させること」などが指示されています(ルールによらずに飛行させる場合、安全性を確保し国土交通大臣の許可を受ける必要があります)。

趣味での利用から業務での利用まで幅広く活用され、今後さらなる分野での活躍が期待されている無人航空機ですが、使い方次第では他人の身体や財産に危害を加えかねない凶器にもなりえます。安全対策をしっかりと施し、ルールを守って使用することが今後より一層求められます。

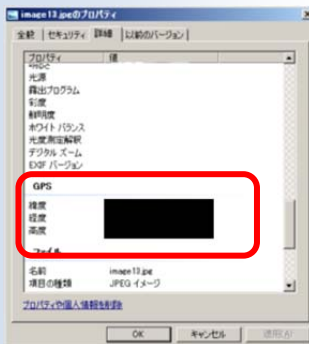
※詳細は国土交通省 Web サイトを参照ください

IoT(Internet of things)モノのインターネット

最近スマートフォン等からインターネットを介してコントロール出来るスマート家電と呼ばれる“モノ”が増えています。しかしこれからは家電だけでなく私たちの身の回りにあるあらゆる“モノ”がインターネットに繋がるようになります。これが所謂「IoT」モノのインターネットです。例えば、自動車や産業機械等がインターネットに繋がると、それぞれの“モノ”に組み込まれているセンサーによって現在位置の情報を読み取ったり、燃費や温度といった現在の状態を知ることが出来ます。さらに機械の稼働時間や故障部分といった管理情報も知ることが出来ます。様々な“モノ”がインターネットに繋がり、離れた場所から“モノ”の状態を知り、制御出来るようになれば、省エネルギー化や業務の最適化がなされて生産性アップが期待出来ます。多くの産業を巻き込んで成長が見込まれる「IoT」は、これから私たちの生活に多くの変化をもたらしていくでしょう。AI(人工知能)の発達等と合わせて目が離せないものとなりそうです。

スマートフォンのGPS機能～利便性とその危険～

写真撮影は画像の確認がすぐでき、画質もきれいなスマートフォンで、という方は少なくありません。しかしこうした機器で撮影された画像データにはGPSデータ(位置情報)(対応機器のみ)が含まれていることをご存知ですか? 通常その画像ファイルには「Exif」と呼ばれるメタデータと一緒に保存されています。その中に撮影された場所の緯度、経度といった位置情報が含まれています。最近では食事や観光写真などをSNS上に載せている方も多いですが、位置情報から自分の所在など個人情報を他人に知られる危険があります。とはいえ位置情報が記録されていることにはメリットもあります。例えば撮影された場所を知りたい場合は位置情報は便利です。ブルートレンドでは「位置情報付き写真の読み込み」コマンドから撮影した画像データの場所を座標化でき、座標と画像の関連作業の手間を少なく出来ます。



※スマートフォンで撮影した画像データのプロパティ画面。緯度、経度といった位置情報が記録されている。

スマートフォンで撮影した画像データのプロパティ画面。緯度、経度といった位置情報が記録されている。スマートフォンで撮影した画像データをプロパティ画面で確認すると、緯度、経度といった位置情報が記録されていることが確認できます。位置情報を記録したくない場合にはスマートフォンの設定をご確認ください!

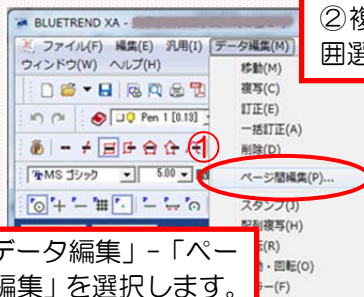
「Windows10」の目玉機能?webブラウザ「Edge」

windows10から使用できるwebブラウザのEdge。このEdgeには「webノート」という面白い機能があります。これはwebページ上にペンや手書きでメモ書きしたり、蛍光ペンでマーキングしたりすることが可能で、さらにそのページを保存しておくことも出来ます。webページを閲覧中、気になる部分にちょっとしたコメントや注釈などを加えて後で読み返したい時は、印刷物に手書きした紙ではなく、「Webノート」を使用した電子データで読み返すことが出来ます。Windows10は持ち運びに便利なタブレットでも使用できるので、この機能はお勧めです!



ラスタデータを他のページにコピーしたい→「ページ間編集」!!

ページ間でデータを複写することができる「ページ間編集」の機能でラスタデータも手軽に複写することができます(XAのバージョンによっては出来ない場合もあります)



①「データ編集」-「ページ間編集」を選択します。

②複写したいラスタを範囲選択しクリックします。



③別ページの任意の場所をクリックし、ラスタを配置します。